

風格ある県都を目指すまちづくり構想 (H30.12月)

<福島駅前周辺エリア>

- ・広域的な拠点地区としての活力あるまちづくり
- ・魅力的で賑わいのあるまちづくり
- ・まちを楽しみ、すごせるシンボル軸、回遊空間づくり
- ・快適で住みやすいコンパクトなまちづくり

市施設の整備基本計画(R2.3月)のコンセプト 「多様な交流・にぎわいを創出するふくしまコンベンション」

「風格ある県都」
として広域的な
拠点となる施設

様々なイベントを
可能とする施設

福島らしさを表現
し、文化芸術活動
の拠点となる施設

気軽に立ち寄り
日常利用できる
施設

(複合型で)ワン
ストップサービスが
可能な施設

【検討会でのご意見(抜粋)】

- ・ランドマークになる
- ・日常使いできる場所があると賑わいにつながる
- ・市外の人が福島を知るためのコンテンツがある
- ・自由に、日常使いができる
- ・通りとの連携も考えた屋内広場
- ・若者が集まる、学生が勉強できるような施設
- ・学会や展示会などの文化活動の場所
- ・コアなファンミーティング
- ・施設を活かす使い方や、運営面での工夫が必要となる

<コンベンションホール単独案の方向性で概ね一致>

- ・フレキシビリティ(可変性)と多様な使い方
 - ・まちに開かれていること、まちとのつながり
- を評価

【タウンミーティング、出前講座等でのご意見(抜粋)】

- ・まちの希望になる
- ・施設やまちに思わず足を運びたくなる
- ・文化のある魅力的なまち
- ・子どもたちが表現できる
- ・イベントやコンサートが開催できる
- ・幅広い世代が集える
- ・若者や家族連れが気軽に利用できる
- ・ベンチなどの休める設え
- ・子育て世代向けの親子カフェ
- ・オフィスをつくって就職希望者の受け皿
- ・企業と学生のマッチングの場
- ・いろいろな人と関われる

コンベンションホール単独案の場合の肉づけ案
(第三回検討会)